母の歩んだ信仰の道を私も

釜石教会　岡﨑靖子さん

岡﨑さん一家は、東日本大震災に被災。津波によって母と家屋が流されてしまった。悲しみと不安、恐怖を抱えながら、仏教の仲間たちがいる釜石教会を拠点に母の捜索を続けた。仲間たちは、おにぎりと水を手渡して見送ってくれたり、苦しい胸の内を聞いて寄り添ってくれた。おかげで挫折しそうな心を立て直すことができたという。母の遺体は4月25日に見つかった。あるとき、尊敬する方から「死に方ではなく、亡くなった方がどのように生きたかを見ていくことが大切です」というアドバイスを受け、生前の母の生き方に思いを馳せた。仏教の教えに従い、まず人さまの精神で、「苦しみも受けとめ方によって光になる」と語り、多くの仲間に囲まれていた母の偉大さを実感した。震災によって突然いのちを奪われたが、母の姿はいまも、岡﨑さんの中に脈々と息づいている。

kosei
生かされ、生きるチカラ。

朝が大事

私たちの朝の日課で、神仏へのごあいさつと読経供養は外せないものですが、礼拝にもご供養にも通じる合掌には、元気と活力につながる着目すべき点があるようです。

ただ、大切なのは、長く合掌するということよりも、合掌礼拝が神仏に通じており、その敬虔な気持ちがストレスを和らげ、自然治癒力など潜在的な力を引きだす可能性があることです。まして、朝いちばんにまごころをこめて神仏と向きあう合掌ともなれば、帰依心の深まりとともに、持ち前の活気がより呼び覚まされるのではないでしょうか。私たちは、そういう合掌を毎朝しているわけです。

また、「一日は一生の縮図」といわれますが、その意味でいうと、朝の目覚めは誕生の瞬間そのものです。「今日ただいま誕生」。そういう新鮮な気持ちで朝を迎えると、日々新たになり、きのうまでのとらわれを離れた前向きな心で一日をはじめることができるのです。

立正佼成会
〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615
Eメール：info@kosei-kai.or.jp　www.kosei-kai.or.jp